



【写真・文】大森 竹之助さん  
(久慈市在住・74歳)

九月に入ると普代村の山々は、ヤマハギの花の真っ盛りを迎える。どこの山に入ってもヤマハギがあつて、秋の山を彩り賑やかさを増している。  
紅紫色の蝶形花はごく普通に見られ、珍しいものではない。山裾に立つて静かに季節の移り変わりを知り、中秋の名月の近いことを実感する。そういえば秋の七草の一つである。小さい花がびっしりとちりばめられた、ヤマハギの道を歩くのは楽しい。



撮影 茂市 2004年9月8日

## ヤマハギ (まめ科)

■学名 *Lespedeza bicolor*

い木部でも硬く、それでいてよくしなり、台風があつても折れることはない。  
馬の飼育が盛んであつたころは、飼料としての価値が高く、ハギ刈りと言つて山に入り、次々とシマにして乾燥させ、自宅に運び冬の飼料として蓄えた。馬は好んで食べるが、栄養価が高く脾臓を壊すので、他の飼料と混ぜて量を加減しながら与えた。木部の硬い部分は冬の囲炉裏に焚き付けとして利用し価値があつた。  
かつてヤマハギは、根尾を乾燥して煎薬に、乾燥した葉は茶の代用に、種子は粉にして食用に、枝はほうぎ、垣根などにも使われた。

◇幼児向け  
『ながればしきらり』  
すまいるママ



「きらり」は小さな小さな流れ星。体は小さくても誰にも負けない大きな勇気を持つています。ある夜、森を風が襲い動物たちはきらりに願い事をしました。  
ソニー・マガジンス

◇小中学生向け

『リルケと  
フェルミアの花』

伊藤 瑠美



リルケは、大好きなおじいさんからフェルミアの花をもらいました。世界で一番美しい花をおじいさんに見せてあげるため、リルケは旅に出ます。

文芸社

◇一般向け  
『雨と夢のあとに』  
柳 美里



が帰ってきた。一人で留守番をしていた12歳の少女は喜ぶ。しかし、帰国した父はいつもと様子が違っていた。角川書店

◇一般向け

『家事革命』

阿部 絢子



「電子レンジはいらない」おいしい豊かな食卓。

「石けん、お酢を使う」環境や体に優しい掃除法など、手間をかけずにキレイに暮らす知恵が満載。

講談社